

# ことうら議会だより

2025年11月1日発行 第86号



## トピックス

- ・ 特集…………… P 2～3  
町の財政は果たして健全か
- ・ 臨時会、定例…………… P 4～7
- ・ 委員会報告…………… P 8～11
- ・ 一般質問…………… P 13～23

## つなげ笑顔のバトン

未来を担う子ども達は家庭や地域、そしてこども園との連携で健やかに成長していきます。しかし、保育士など子育ての拠点となる保育現場での人材不足が心配です。



# 特集

# 町の財政は

# 6年度決算

9月定例議会最終日に6年度決算の審議を行い、賛成多数で執行部は赤字も資金不足もなく財政は健全であると説明して126億5,236万円であった（対前年2億4,782万円増）。

財源不足を補うために基金からの一般会計への繰り入れが増基金の取り崩しによる財源確保に今後も注視していく必要が

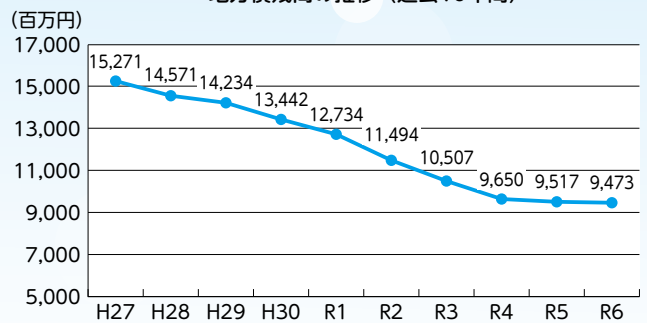
## 町の財政状況

### ○地方債残高（町の借金）

94億7,300万円

地方債は、将来にわたって返し続けるローンのようなもの。  
年々減少傾向にはあるが、今後上下水道整備、公共施設の維持管理や更新により増加が見込まれる。

地方債残高の推移（過去10年間）

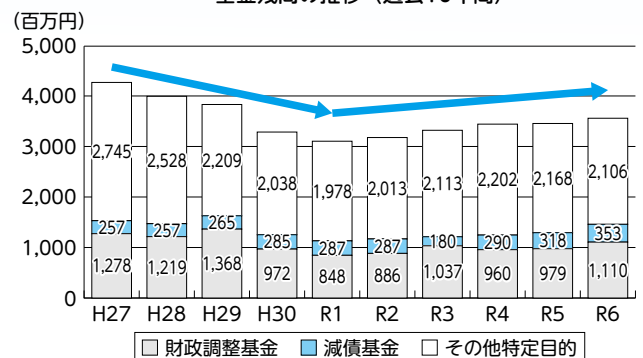


### ○基金残高（町の貯金）

35億6,900万円

基金は、家庭で言えば貯金のようなもので、前年度決算の繰り越し金などを積み立てており近年は増加傾向にある。しかし、財政調整基金については目標の12億円には達していない。

基金残高の推移（過去10年間）



### ○経常収支比率（財政力指標）

92.3%

町の税金や国からの交付税などの収入に対し、職員の給料や施設の維持管理費など、毎年必ず必要なお金がどれくらいを示す割合で、理想的には70～80%とされている。近年、悪化傾向にある。

3年間の比較表

(R6年決算書から)

	R4	R5	R6
経常収支比率	91.3%	92.2%	92.3%

# 果たして健全か

## 賛成多数で認定

認定したが、課題も多く残されている。

いるが、一般会計の歳出は年々増加しており、令和6年度は

加しており、果たして健全財政と言えるのか疑問である。  
ある。

### 決算での注目点

#### ○ふるさと納税外部委託費

ふるさと納税の制度変更等があり、納税者、納税額が減少している。

貴重な収入源であり、外部委託による収入増が見込めるのか。

2,312万円



ふるさと納税返礼品

#### ○生涯学習センターの改修・修繕

各地区公民館、分庁舎など、公共施設の改修・修繕は今後も見込まれる。

3億9,857万円



生涯学習センター空調改修

#### ○補助金の取扱い

法令遵守、事業実施のチェック体制（機能）など見直しが必要。

#### ○職員の働く環境

- ・保育士の離職は改善されていない。
- ・職員の体調不良、退職者は依然として減っていない。

正職員数減が進むなか、正職員への負担増となっていないか。

#### ○保育関係正規職員数

(人)

年度	R4	R5	R6
新規採用者	3	1	4
職員数	59	53	57
退職者	7	0	5

7月・8月  
臨時会

9月  
定例会

# 防災行政情報伝達シス

7月臨時議会（7月25日）、8月臨時会（8月26日）において、スマホ取得（案）を2度にわたって否決。  
7月議会では、住民への説明不足、戸別受信機の貸与対象について議和し再提出したが、可否同数となり、議長裁決の結果、否決。  
9月議会で、親卓のみの改修案を採択した。

7月臨時会（7月25日）

## 議案第78号 財産の取得について（防災行政情報伝達システム戸別受信機）

### 賛成少数で原案否決

現在の防災行政無線設備の老朽化に伴い、新たにスマホの文字入力による防災情報システムから情報を受信する戸別受信機を購入するという議案。スマホで情報伝達は充分出来るという意見と、不十分という議論がなされた。

### 討 論

#### 賛 成

##### 澤田 議員

従来の情報システムからスマホを基本としたシステムに変更していく。このシステムの理解を十分にしていき確立していく。

#### 反 対

##### 谷田 議員

当事者である住民に十分な説明がない。危機管理の検討もない。

##### 押本 議員

媒体であるスマホの使い方、入力の仕方などで混乱が生じる。議会、住民への説明が不十分だ。

賛 成

6

反 対

8

## 議案第79号 建設工事請負契約の締結について（旧以西小学校改修工事）

### 全会一致で可決

旧以西小学校1階部分を、以西地区のコミュニティ活動の拠点となる施設として改修するもの。契約額8,096万円。

# テム更新に関わる議案は否決

ホ対応の新“防災行政情報伝達システム”に関わる『戸別受信機』の財産論が噴出。町は8月に住民説明会を実施し、戸別受信機の貸与対象者を緩

8月臨時会（8月26日）

## 議案第80号 財産の取得について（防災行政情報伝達システム戸別受信機）

### 賛成少数で原案否決

町は住民説明会を開催し、戸別受信機の貸与対象者を緩和して再提案。

## 討 論

### 賛 成

#### 桑本<sup>始</sup> 議員

アンケート（戸別受信機希望の）からの仕分け問題を心配している。苦言を呈して賛成する。

#### 山本 議員

戸別受信機の設置にあたっては、希望調査、ニーズ調査を徹底し、新システムが確立することを信じて賛成する。

#### 小椋<sup>正</sup> 議員

きちんとした説明、冊子などによるアプリの導入の推進など、丁寧な支援体制の徹底が求められる。防災行政が進展することを願って、賛成する。

### 反 対

#### 押本 議員

人口の約2割がスマホを所持していない。来年1年度だけでスマホのアプリの使用が周知徹底できるのか疑問だ。親卓のみの改修と防災アプリとの併用を推奨したいので反対する。

#### 田中 議員

区長や高齢者クラブなどが求める現行の部落内放送が維持できない。老朽化した親卓だけを改修すれば起債などで町負担3,000万円で済む。コスト削減を図れるシステムの北栄町などの事例がある。

#### 谷田 議員

防災行政情報はすべての町民が何の制約もなく受け取れるもの。戸別受信機の貸与対象範囲を広げても、貸与される世帯が限定される状況は変わらない。

賛 成

7

反 対

7

可・否同数により議長裁決の結果、否決となる。

## 9月定例会

議案第83号 一般会計補正予算（第4号）

議案第116号 一般会計補正予算（第5号）

### 全会一致で可決

#### 主な事業

- 防災行政無線放送卓改修事業 9,465万円（緊急防災・減災事業債を使い、町負担約3,000万円）
- 学校給食費保護者負担1ヶ月無料化 716万円（物価対策臨時交付金、国10/10）
- 人工芝用スポーツトラクター購入 924万円

議案第117号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

議案第118号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

### 全会一致で同意

(再) 教育長 かわはら ひろし 河原 裕司 氏

任期 令和7年10月27日～令和10年10月26日（3年間）

(再) 教育委員 くろまつ さとし 黒松 悟司 氏

任期 令和7年10月27日～令和11年10月26日（4年間）

議案第94号 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について

### 賛成多数で認定

## 討 論

### 反 対

#### 桑本賢 議員

反対の理由は、人工芝のサッカー場の改修。町で生産される芝、地元業者の利益となる工事とすべきだ。

#### 山本 議員

サッカー場に係る決算について反対。マイクロプラスチック、環境、健康、夏場の高温など心配が払拭されていない。

#### 金光 議員

補助金の支出に不適切な執行があった。組織全体のチェック機能が弱まっていると考え、本決算に反対する。

#### 押本 議員

補助金の支出科目問題、保育士の離職問題、地方債残高に関わる財政問題。以上3点により不認定。

賛成

8

反対

5

## 請願・陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
7年陳情第6号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 支部長 岡本篤志 鳥取県教職員組合中部支部 支部長 山根義孝	教育民生	採択	採択
7年陳情第7号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 支部長 岡本篤志 鳥取県教職員組合中部支部 支部長 山根義孝	教育民生	採択	採択

## 賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果		金光敦	小椋憲浩	谷田順子	田中肇	川本善孝	山本秀正	押本昌幸	澤田豊秋	桑本賢治	小椋正和	手嶋正巳	前田智章	桑本始	井木裕	大平高志	
	賛成	反対																
臨時会 財産の取得について(防災行政情報伝達システム戸別受信機)	否決	6	8	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	議
臨時会 財産の取得について(防災行政情報伝達システム戸別受信機)	否決 (議長裁決)	7	7	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	※
定例会 令和6年度琴浦町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	8	5	×	○	○	○	欠	×	×	○	×	○	○	○	×	×	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となった。

○=賛成・採択    ×=反対    欠=欠席    議=議長    退=退席    除=除斥

※「財産の取得について(防災行政情報伝達システム戸別受信機)」は起立採決の結果、可否同数であったため議長裁決により決した。

お詫び  
と  
訂正

本誌、令和7年8月1日発行 85号11頁において、誤りがありましたので訂正しお詫びいたします。  
 〈報告事項・質疑応答〉まちづくり2番目のA 浦安駅跨線橋の照明について  
 正 「防犯灯が設置されるまでの間、朝方まで点灯する」  
 誤 「浦安駅は修繕終了後、朝方まで点灯する」



# 委員会

## 予算・決算特別委員会

9月10～12日に委員会を開催し、議案第94号「令和6年  
査し認定した。

議題では、ふるさと納税の減少と委託効果、補助金の適正

**Q** 近隣の市町の公立の保育所の運営の仕方、勤務条件などは把握しておられるか。

**A** 他の市町の、公立の運営の仕方については全てを具体的に把握しているわけではない。

保育士の確保に苦労されている町もあれば、園児数が減って保育士の数に余剰があるところもある。

**Q** 保育士の早期退職が4名出ており、保育所での人手不足も懸念されるが今後の対策は。

**A** 令和7年度から発達支援のアドバイザーを子育て応援課に配置している。



**Q** 消防団員が定数割れしており、女性団員は0人である。団員確保の手立ては。

**A** 女性団員の啓発活動等は有効で必要なものだと考えている。女性団員に限らず、各分団のツテ等で確保に努める。

**Q** 交通安全指導員が定数35人に対し17人。下郷・古布庄は0人であるが、確保策は。

**A** 現隊員や地域団体・見守り隊等に声かけをしている。在勤者でも入団可能とし、地域の取組と連携し確保を図る。

**Q** 町民総合保険は全町民に掛けて実績が4件。事故の内容と少なさの理由は。

**A** 町有施設起因の事故を補償している。スポーツ行事は各保険で対応。

**Q** 河川水質検査の地点が河口近くで適切か。

**A** 流域全体の把握という観点で河口を選定している。指針は特段ないが、必要地点の再点検を行い検討。

# の 報 告



委員長 押本 昌幸

度琴浦町一般会計歳入 歳出決算認定について」他18件を審  
執行、保育士の離職などに質問が集中した。



- Q** 決算監査意見書に関する「補助金不適切」について「見解の相違」は妥当か。
- A** 見解の相違ではなく、町の処理に誤りがあった。今後改善する。

- Q** ふるさと納税はJTBに委託しても納税額が令和4年3億6,000万円が、令和6年には2億5,400万円に減少している。委託先の、JTBの総括は。
- A** ふるさと納税はカニに依存していたため、価格高騰やサイズの縮小でリピーターが減少した。加工・小分け・冷凍などへの品にシフトしていく。

- Q** ワークセンター職員の猛暑対策の実施状況は。
- A** 猛暑対策は空調ベストを町で購入し、着用していただいている。また、簡易テント等の日陰確保も導入を検討している。

- Q** 公園の草刈りはボランティア制度の対象になるか。
- A** 制度上、公園も対象となる。申請があれば交付金での対応が可能。

- Q** 人工芝の助成金が当初の予定額より少ないようだが。
- A** 日本スポーツ振興協会に助成金の申請を10割で申請していたが、助成額が8割となった。全国で同様の申請があったが軒並み支給額は8割。

- Q** 船上山トロッコ道の整備状況と観光資源としての評価は。
- A** 県から借りている道は草刈りなど整備している。森林鉄道軌跡～西坂～船上神社へ至る登山道の一つとして、登山を楽しむことができる。

(文責：副委員長 金光 敦)



# 委員会

## 総務産業常任委員会

委員長 小椋 憲浩

9月16日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審議を行った。委員会終了後は琴浦町の農家5名（乳牛2名、和牛繁殖2名、肉用牛1名）との意見交換会を行った。また旧カウベルホールの運営やホール環境の状況の確認を行った。

### 《報告・協議の質疑応答》

#### くらし

- Q** 東伯総合公園の上下水道の整備について、防災上の観点による改修の方向から上水道使用への変更計画は金額的な問題か。修繕した方が経費は安く済むのではないか。
- A** 井戸の修繕に1回約2,000万円、浄化槽の修繕に700万円程度必要で、以降次の改修などの経費を計算すると、公園内に上水道を整備した方が安く済む。
- Q** 浦安駅の夜間に自転車置場は電気がついているが、跨線橋の夜間電灯は消えている。防犯上の観点から点灯が必要ではないか。
- A** 管轄する部署が異なっているので、連携を取りながら検討する。

#### まちづくり

- Q** ふるさと納税債務負担行為で、委託先のJTБへの支払い額800万円の根拠は。
- A** ふるさと納税額寄付金の見込み額の5.5%を支払う額として計画している。
- Q** 新しい地域おこし協力隊の採用要綱は、おおむね3大都市圏からとなっているが、鳥取市在住でもその解釈でよいか。
- A** Uターンの方を採用されている行政も多数ある。活動地域外から過疎地域への移住も認められている。
- Q** 風の丘公園の「恋人の聖地」復活は。
- A** 検討させていただきたい。



意見交換会



旧カウベルホール視察

### 委員長の感想

9月の総務産業常任委員会では、琴浦町で畜産業を営んでおられる農家と意見交換会を行い、飼料、燃料など生産費の高騰問題への対策、人材不足などで生産拡大したくても出来ていない現状など活発な意見交換会が開催できました。頂いた多くの声を受け止め魅力ある農業生産につながる施策作りを目指して邁進したいと思っております。また旧カウベルホールの状況を視察し、今の課題やこれからの進め方など意見交換を行い、今後の動向への関心が高まりました。

# の 報 告



## 教育民生常任委員会

委員長 金光 敦

9月17日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審議を行った。委員会に付託された7年陳情第6号ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情についてを全会一致で採択とし、7年陳情第7号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情については採択とした。また、10月2日には教育委員との意見交換会を行った。

### 《報告事項・質疑応答》

#### 東伯総合公園改修

- Q** 災害時に井戸は有用である。防災・減災の補助金も使い、平時も使える形で井戸を生かすランドデザインが必要ではないか。
- A** 現行の井戸を全体活用すると高額になる。指定避難所であることを踏まえ、通常運用は上水道、非常時は防災井戸という整理が妥当であると考えている。
- Q** 屋外の多くは雑用水で足りる。上水は飲用に限定し、散水やトイレは井戸水や雨水を利用してはどうか。
- A** 複数システムの整備・更新・管理コストを総合的に考えると、現時点では上水道一本化の方針である。

#### くらし

- Q** 出生数増加に向けた町独自の施策は。
- A** 町独自では、乳幼児家庭保育支援給付金として1～2歳未満に月3万円を家庭保育世帯へ支給している。
- Q** 生活保護世帯でエアコンがついていない世帯数を把握しているか。
- A** 正確な数は把握していない。平成30年4月以降に保護開始であれば購入は可能。しかし、平成30年4月以前は対象外となるため県社協の貸付で購入対応。



意見交換会

#### 委員長の感想

9月の教育民生常任委員会では、東伯総合公園の給排水の設計方針について多くの質疑が行われました。

また、10月2日の教育委員との意見交換会では、働き方改革（部活動の地域移行・GIGAスクール構想）、学力・体力の向上、不登校支援、施設整備の方向性について現状と課題を確認しました。子どもの学びと先生の働きやすさの両立を、着実に前進させてまいります。

## 「町議会報告会・意見交換会」を開催

7月29日に安田地域交流センター（安田の郷）にて町議会報告会・意見交換会を開催した。

今回は、住民12名の参加があり、議会から議会改革の進捗状況を報告後、安田地区に関する課題について、地域づくりや議員活動の住民への理解を進めることなどについて意見交換を実施した。

### ●意見交換（出席者の意見）

- ・水田を良くしていくことは難しいと考える。特に日照りも続いて、山間部の水田も日照りで悪いところがある。
- ・共助交通の運転手は、今のところは70歳ぐらいまでだが、続けていくためには後継者を育てていかないといけないと思う。
- ・議員の方に、実際3年後のビジョン、5年後のビジョンでもいいので、琴浦町の魅力をどうやって発信して、どうやって住みよい、楽しい琴浦町にできるのかということを前面に押し出して、頑張っていただけたらと思う。
- ・いつまでも議員定数を引っ張っているのではなくて、こういうふうな仕事をするから議員の報酬を上げて、議員定数を減らしましたと言えるような形にしてほしいと思う。
- ・人工芝サッカー場のプラスチックゴミは環境には絶対に良くないと思う。人工芝にしないといけないのか。問題があまりにも大きい。町の執行部ともう一度、意見を交わして議会としての役目を果たしてほしいと思う。



意見交換会の様子

(山本秀正議員)

## 議員研修を実施

8月1日、(株)自治日報社の<sup>たかはしかずゆき</sup>高橋一之記者を講師に迎え「議会改革（主権者教育）」について研修した。

研修では、主権者教育の必要性について講義を受けた後、模擬の町を3グループ設定し、各議員の提言をもとにした政策カードを使ってまちづくりワークショップを行った。

本町議会が現在取り組んでいるテーマでもあり、有意義な研修となった。

(谷田順子議員)



ワークショップの様子

ここが聞きたい

# 一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

	質問議員	質問事項	掲載ページ	録画映像 QRコード
9月8日	通告1番 おぐら のりひろ 小椋 憲浩	1. 赤碓駅改装に伴うこれまでの経過と今後について 2. 農道の拡幅改良工事を行い、生産意欲の高い生産者への早期解決策への考え方について	14	
	通告2番 たなか はじめ 田中 肇	1. 東伯総合公園サッカー場の整備について 2. 旧カウベルホールの利・活用の方針について	15	
	通告3番 やまもと ひでまさ 山本 秀正	1. 町長の政治姿勢について 2. 戦争の風化と平和教育について 3. 遺族会の存続について	16	
	通告4番 てしま まさみ 手嶋 正巳	1. 町長の政治姿勢について 2. 企業誘致のための琴浦東エリアの用地の活用について 3. 町職員の町民に対する対応について	17	
	通告5番 たにだ じゅんこ 谷田 順子	1. 令和5年に行った一般質問に対するその後の経過について	18	
9月9日	通告6番 かわもと よしたか 川本 善孝	1. 児童数を維持するための施策について 2. スケートボード練習場の整備について	19	
	通告7番 かねみつ あつし 金光 敦	1. GIGAスクール構想に基づく本町の取り組みについて 2. 町内における運転代行業について	20	
	通告8番 おぐら まさかず 小椋 正和	1. 農業振興対策について 2. 町内企業の撤退について 3. 齋尾廃寺跡の活用について	21	
	通告9番 くわもと はじめ 桑本 始	1. 人口減少と地方創生について 2. 地方創生2.0関係人口・交流人口を拡大させ、若者や女性に選ばれる地域づくりについて	22	
	通告10番 おしもと まさゆき 押本 昌幸	1. 「旧カウベルホール」のサウンディング型市場調査にいたるまでの経過は 2. 「旧カウベルホール」のサウンディング調査のNPO法人の提案の内容は 3. 「旧カウベルホール」のコンサートピアノの処遇は 4. 今後の「地区公民館改修」の在り方は	23	

※青字は、本誌では省略



事項一覧



通告書

一般質問の録画映像を  
YouTubeでご覧いただ  
けるようになりました。



小椋 憲浩 議員



1. 赤碓駅改修に伴う経緯と今後は
2. 農道の拡幅工事の考えは



1. JR側は直ぐに改修にかかれぬとの回答
2. 有効な利活用をよく考えなくてはならない  
福本町長

質疑応答時間 ( 12回 (質問) 22分 + (答弁) 25分 ) (トータル) 47分



## 赤碓駅改修に伴うこれまでの経緯と今後について

**問** 浦安駅改修が終了すると赤碓駅の改修に進む事が示されているが、これまでの経緯と今後の方向性については。

**答** 両駅とも屋根裏にアスベストを含んでおり、傷みの早い浦安駅を先に改修した。JR側は駅構内での営業行為は認められないとの方針からイベント的な活動が出来ない状態となっている。また改修については他にも急ぐ駅があるため、遅れる可能性があることも聞いている。

**問** 時間の経過により区長さんの交代や担当者の異動があったが、住民への情報提供となる意見交換会の開催や、その内容をJR側との交渉結果は。

**答** あらゆる情報は提供しないとイケないと思っている。町民の皆様は運営に対して自分たちが随分やる気を出して頂いていたと思う。JRとの協議も内容が変更になる事が多かったことも事実で、軽々しく情報提供という訳にはいかない部分もある。



赤碓駅



琴の浦高等特別支援学校の存在が大きなポイントだと思うが。



高等特別支援学校の生徒さんが作られた作品を、駅で販売することはいい事と思っている。現金授受などの問題もあるが、改修が遅れる事でまだ交渉の余地はあると思っているので可能性をJR側に求めている。

## 農道の拡幅改良工事について



農道の道幅が狭いところが多いと町民から多くの声が寄せられている。農道を拡幅改良することで農業生産意欲の沸く方向性を考えられないか、その結果が農業の様々な課題解決につながり、継続的な農業振興が図られると考えるが。



土地改良事業であり農地をどうするかが基本だ。地権者、耕作者の同意やその方達が望んでいるのか、その土地をどの様に利活用するのか色々考えなくてはならない。



農道



- 1 東伯総合公園サッカー場の整備について
- 2 旧カウベルホールの利・活用について



- 1 マイクロプラスチック流出に対応
- 2 トライアル事業は12月末判断

福本町長



田中 肇 議員

質疑応答時間 ( 20回 (質問) 30分 + (答弁) 27分 ) (トータル) 57分



## 東伯総合公園サッカー場整備

令和元年に人工芝サッカー場の整備に関する請願が議会採択されて以来、7年かけてようやくサッカー場が整備完成することになった。

これにより、施設の多目的利用や町民の皆さんの健康増進への寄与、町外からの利用者など交流人口の増加効果が期待される。

### 問 整備費用の妥当性について

10年くらい前の整備費は1億2千万円、現在は約5億1千9百万円の事業費だが、その原因は。

### 答 国交省の労務単価では倍

国交省の労務単価では、平成24年度は1万3,072円、令和7年3月は2万4,852円と倍になっている。

### 問 環境対策について

### 答 マイクロプラスチック流出の懸念に対して相当な対応

設計施工にあたり雨水排水対策、環境面での対策は十分に行う。

### 問 ユニバーサルデザインの導入箇所について

町公共施設等総合管理計画書の基本方針にユニバーサルデザインの推進方針があるが。

### 答 導入出来ていない

現状では整備出来ていない。

基本はユニバーサルデザインに基づいた全ての人

が使えるという感覚を持って施設整備に当たるべきと思う。

## 旧カウベルホールの利・活用

### 問 今後の利用・活用の方針は

旧カウベルホールの復活は必要と思うが、令和5年に実施したサウンディング型市場調査の後、今年度トライアル事業者が試験利用しているが、今後の方針は。

### 答 トライアルは12月末に判断

10月をめどにトライアル団体から成果の提示を受けて、12月末に判断したい。

### 問 サウンディング型調査募集で「ホール」自体の活用提案はあったのか

公共事業では、取り組みにくい事業を民間のアイデアで利用・活用する手法がサウンディング型調査。

旧カウベルホール施設の中で「ホール」自体の活用提案はあったのか。

### 答 「ホール」を除いた提案だった

ホールを含む施設全体で募集したが、2事業者の提案は「ホール」以外の提案だった。



閉鎖されたままの入り口  
(旧カウベルホール)



山本 秀正 議員



**旧カウベルホールのトライアル事業継続の判断は**



**継続については町民の皆さんの意見も聞いて判断**

福本町長

質疑応答時間 ( 22回 (質問) 26分 + (答弁) 31分 ) (トータル) 57分



## 町長の政治姿勢について

### 問 トライアル事業継続の判断は

旧カウベルホールは、今年度は試行ということで、ホール以外の利用状況や運営体制などを踏まえ、来年度の対応を検討するということであるが、今年度検証の結果、どういう結果であれば来年度継続で、何が足りなければ打ち切りになるのか。来年度以降どういう対応をされようとしているのか、旧カウベルホールを最終的にどうしようと考えているのか。

### 答 継続については町民の皆さんの意見も聞いて判断

福本町長

来年度以降の旧カウベルホールのトライアル事業の継続判断については、本年10月末までの実績報告を町執行部と町民の皆さんと一緒に受け、判断については、町民の人がどう考えるのか、意見も伺って、残すべき、活用すべきという提案が多ければ、その努力をしていきたい。

## 戦争の風化と平和教育について

### 問 教育の場での平和教育の取り組みは

平和教育は重要であると考えているが、現在、教育の場(学校、地域社会)でどのように取り組まれているのか。

### 答 パネル展示などを実施

河原教育長

小中学校では修学旅行等の機会や各教科等の学習をとおして、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを学んでいる。また、図書館では戦争を考える機会としてパネル展示を行っている。

### 問 平和教育から学ぶものは

平和教育から学ぶものとして、どのようなことが考えられるか?

### 答 様々な学習活動が組まれる

河原教育長

日本の学校では、主に戦争の悲惨さを子どもたちに伝えて、平和の大切さを感じられるような様々な工夫がされてきたと認識している。今後も機会をみて様々な学習活動が組まれるものと思っている。

## 遺族会の存続について

### 問 忠魂碑の管理は今後どうなるのか

各地区に慰霊碑、忠魂碑があるとおもわれるが、維持管理はだれが行っているのか。今後はどうなるのか。

### 答 管理ができなくなれば町が管理を考える

福本町長

遺族の高齢化と忠魂碑の老朽化が進む中、倒壊の危険を防ぐほか、戦禍の記憶継承も含め、維持管理について、最終的に、本当に管理ができなくなったところが出てくるようであれば、町の中でも管理を考えていきたいと思っている。



忠魂碑 (八橋地内)



**町長の政治姿勢について  
就任から3年8ヶ月が経過した現在、  
振り返られて成果なり評価は**



**成果は東伯総合公園の人工芝、ふなのえこども  
園、成美地区公民館の複合施設の完成の2点  
評価は自分では出来ない** **福本町長**



手嶋 正巳 議員

質疑応答時間 ( 20回 (質問) 18分 + (答弁) 48分 ) (トータル) 66分



### 町長の政治姿勢

**問** 成果はいろいろあると思うが次の評価は

- ①東伯総合公園の人工芝。
- ②ふなのえこども園、成美地区公民館の複合施設。
- ③自己評価は。

**答** ①難産だったが来年度には完成する。  
白鳳祭は町主催ではなく実行委員会に主催をお願いしている。いい案を出してやっていただきたいと思っている。

- ②物価高騰や働き方改革、構造上いろいろあったが難産の未出来あがった。今後は交通体制をしっかりと事故のないように、信号機も要求していきたい。
- ③評価は自己採点はできない。

**問** 旧カウベルホールの今後は

- ①昨年一般質問してから約1年間経過している。何故こんなに時間がかかっているのか。
- ②最終的な判断はいつなのか。

**答** ①サウンディング調査をした結果2者の内、1者は慎重に議論を重ねた結果断念となった。残りの1者については違った角度で検討させていただき時間がかかった。

- ②年内には方向性を出したい。

**問** 来年1月に予定されている町長選は

**答** できれば関わりたいと思っている。

### 企業誘致のための琴浦東エリアの活用について

**問** ①何もないまま現在に至っているが、活用の考えはないのか。

- ②地権者に対してきちんと説明され納得されているのか。

**答** ①企業誘致候補地の一つであるが情勢の変化により製造業など雇用の多い企業用地は現状難しい。

- ②平成26年に説明会を開催。  
企業誘致の用地として町が購入の意思があると伝えた、現在実際購入の話まで進めていない。当面は引き続き農地として利用していただく。

### 町職員の町民に対する対応について

**問** ①部下に対する監督なり指導はどのようにされているのか。

- ②町長は分庁舎にどの程度足を運ばれて見回りをされているのか。

**答** ①接遇マニュアルを活用した研修実施、接遇について寄せられた町民の声に基づく管理職の指導、管理職会での町民の声、内容の共有による全職員への注意喚起などを行っている。

- ②分庁舎で業務があるごとに窓口の様子を見ている。



谷田 順子 議員



1 GPSで行方不明者の早期発見を  
2 生涯学習センターに街路灯設置を



1 GPSは不要という家族の声がある  
2 夜間に再度確認する

福本町長

質疑応答時間 ( 13回 (質問) 22分 + (答弁) 24分 ) (トータル) 46分



## 行方不明者の早期発見

### 問 GPS徘徊探知機システムの検証 検討結果は

令和5年9月の定例議会において、GPS徘徊探知機の活用について提案し、5年度中に検証し検討したいとの回答であったが、どのように検証・検討されたのか、琴浦町では実施しないと判断された経過を伺う。

### 答 中部市町の取り組みを確認した結果

三朝町と湯梨浜町が取り組んでいるが、最近では申請がない状況と聞いている。

かなり負担になるが、民生委員や愛の輪さんなどに声をかけてもらうのが一番効果的。

### 問 GPS徘徊探知機の利用者を全員無事 保護の事例がある

群馬県高崎市は完全無償で実施している。

GPS徘徊探知システムの利用者が行方不明になった事案が90件あったが、全ての人が無事に保護されている。

更に9割の方が1時間以内に発見されている。

### 答 第一は家族

行方不明の事例があった時など、いろいろな商品を紹介しているが、GPSの機器は不要だという家族の声がある。

## 生涯学習センターの街路灯

### 問 街路灯の調査検討結果は

令和5年12月定例議会で、生涯学習センター南側駐車場の東寄りには街路灯や防犯灯が無く危険であるが、町内には他にも必要な個所があるので調査・検討するとされたがその結果を伺う。

### 答 図上で把握している

街路灯や道路照明の台帳を整備しており、図上で必要な個所を把握している。

また、職員が現場に出かけた時にも、必要な個所があれば記録しており、生涯学習センターも必要な個所として押さえている。

### 問 同じ駐車場で設置に差がある

南側駐車場の街路灯全4基のうち、生涯学習センターに渡る通路を挟んで、西側には3基設置されているが東側には1基のみである。

町民の安全を考えれば設置個所の検討が必要ではないか。

### 答 暗くなる夜間に再度現場を確認する

問

18歳以下の児童数の数値目標が必要では

答

目標値は難しい。関係人口、移住・定住人口に目標値を定め取組んでいる

福本町長



川本 善孝 議員

質疑応答時間 ( 6回 (質問) 29分 + (答弁) 17分 ) (トータル) 46分



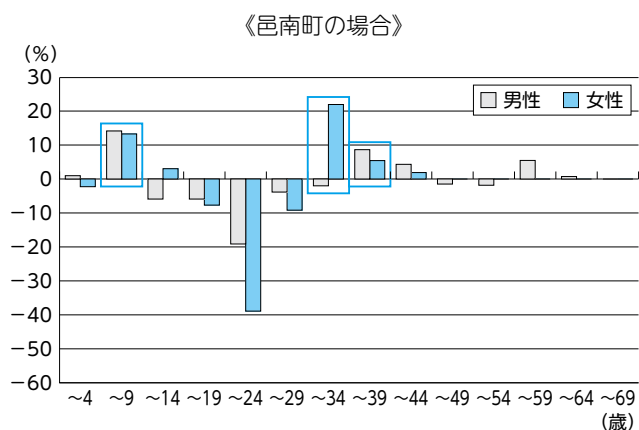
## 児童数を維持するための施策

問

コーホート変化率表<sup>(注)</sup>は、人口の社会移動がよくわかる。「人口戦略会議」の「地方消滅2」も若年女性を増やすことで地方消滅をなくすという考え方だが

(注) 特定の年齢集団が特定の期間にどの程度変化したかの割合。  
将来の人口を推計するときに用いられる。

島根県邑南町は30代女性が増え、子どもが増えていることが次のグラフからわかるが。



※2012～2017年の住民基本台帳データによる。  
『地域人口ビジョンをつくる』(農文協)より

答

本町は子育て環境、教育環境など他町に負けてはいない

減るという現実をしっかりと見据え、対策をしっかりとやっていきたい。関係人口も大事にしていきたいし、空き家ナビ、移住定住アドバイザーの配置、新築・空き家補助金等の充実などしっかりとやっていきたい。

## スケートボードパーク

問

スケートボード練習場を整備する考えはないか

県内には3箇所(鳥取・湯梨浜・米子)があるが、遠くて、さらに駅から離れていて大変という声を聞くが。

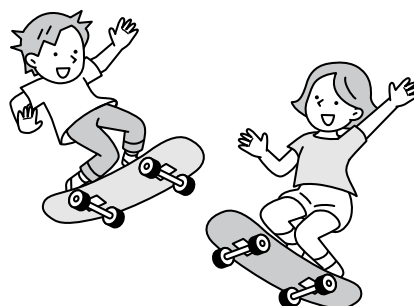


米子市 弓ヶ浜公園スケートボードパーク

答

子どもの可能性を引き出してやるのは大人の責任。順番となると難しいが、子どものためには考えていきたい

人口増は望めないが、関係人口・交流人口は琴浦の地にはあると思う。





金光 敦 議員



**GIGAスクール構想に基づく取り組みは**



**迅速な対応ができた。今後も国の構想に基づいてしっかりと推進**

福本町長

質疑応答時間 ( 13回 (質問) 18分 + (答弁) 34分 ) (トータル) 52分



## GIGAスクール構想

**問** 小・中学校における端末活用の現状と、学習意欲・学習成果の評価は

**答** 日常的に活用が定着している。調べ学習、ドリル・ワーク、思考の可視化、振り返りなどで効果が見られる。個々の進度に応じた学びが可能になり、意欲向上・理解の定着に役立っている

河原教育長

**問** 通信環境の課題（校内回線の不具合、家庭の回線環境格差）、端末不具合、教職員のICT指導力の課題と改善策は

**答** 校内は専用回線で運用し、不具合時は都度対応している。家庭の回線は入学時の保護者アンケートなどで把握し、必要世帯にモバイルルーターを貸与する仕組みを運用。端末トラブルは点検・更新で対応し、教員は研修で指導力向上を図っている。

河原教育長

**問** 児童生徒の健康面（視力・長時間利用など）への影響、情報モラル教育の対応は

**答** 学校での利用は健康面に支障が出ないように留意し、姿勢・休憩・時間管理などの指導を行っている。情報モラルはゲストティーチャー招いて学習し、SNSトラブルなどの未然防止を図っている。

河原教育長

## 町内における代行業

**問** 業者が減少・縮小傾向にある背景は

**答** 人手不足（二種免許保有者の減少）、夜間中心で人材確保が難しい、燃料費などの物価高や保険・車両維持費の負担増などで採算が厳しい。さらに外出そのものを控える動きもあり、需要が細る時間帯の営業が難しい。

福本町長

**問** 夜間の移動手段確保や営業時間延長への要望への対応は

**答** タクシー・代行の要望は把握しているが、需要と採算、待機時間と人件費、採用難のバランスから延長は困難が多い。ライドシェアなどは既存事業者との兼ね合いも踏まえ慎重に考える。

福本町長

**問** 町としての支援の考え方は

**答** 商工会と連携し、経営相談・情報提供、国や県の補助金やIT・DX導入支援の活用、専門家の相談や申請サポートなどを進める。合わせて、地域内共助交通などで移動の下支えも図っていく。

福本町長



**農政の転換期において、町として農業振興対策は図れるのか**



**基盤の再編、渇水対策、申請等についての支援は図る**

福本町長



小椋 正和 議員

質疑応答時間 ( 24回 (質問) 29分 + (答弁) 49分 ) (トータル) 78分



## 農業振興対策

### 問 再基盤整備振興は

大型農業機械の導入が進む中で、中山間地域等圃場への道路拡幅、進入路の狭さが問題となっているが、再基盤整備などにより有効な対応策を図られる考えはないか。

### 答 地域の方の要望があれば

基盤整備そのもの、区画の再編であるという要望があれば対応したい。

### 問 水田への水不足対策は

近年の猛暑から来る水田への水不足対策として、河川からの水量確保に機械等の支援は考えられないか。

### 答 県の渇水対策等緊急事業を活用

根本的には水路の改修で、区画整備などの再編も含めて点検もして、効率の良い対応対策をしていく。

### 問 畑地における灌漑対策は

当初ダム建設より、水の供給を要望していない農家等も、今日の猛暑から来る水不足などにより水の供給を望む声があるが対応されないか。

### 答 灌漑施設のある土地の活用

灌漑設備のある遊休農地を有効に活用していく事が第一。農地の大規格化、農道の拡幅に加えて、灌漑設備も行い、優良農地にした所もある。希望があれば新たな灌漑設備についても支援している所である。

### 問 交付金等の申請対応は

中山間地域の交付金等の対応において、行政としてどのようなバックアップなり支援対応ができるのか。

### 答 情報提供や相談に応じている

相談の部分について、理解していただけるように丁寧に納得してもらうよう対応していく。

## 町内企業の撤退

### 問 撤退をどう捉えているか

町内企業が近年相次いで撤退している。企業なり店舗が減少することは、町内での就業がなくなり、移住定住にも影響を及ぼし人口減少に繋がる事案と考えるがどう捉えているのか。

### 答 本社からの切り捨てが要因

企業努力で優秀な成績を上げているにもかかわらず、物価高、輸送コスト、人手不足などにより撤退せざるを得ない本社側の要因が多々ある。

### 問 撤退を踏まえての対策は

撤退を踏まえて町として跡地等への企業誘致対策はされたのか。

### 答 大手企業は交渉の余地がない

飲食関係では人口15,000人では話にならない。琴浦町の商店、食べ物屋さんを競合せず栄えるように配慮しながら、ジャンルを広げて琴浦に来てもらえる、来てやろうというところを探していきたい。



桑本 始 議員



1 人口減少と地方創生について  
2 大分県豊後高田市は国や県より一歩先行く施策を積み重ね、5年連続で全部門1位を達成



1 自然増は難しく移住に力を入れている  
2 ポケットフォルダー型のスタイルブックを作成している  
福本町長

質疑応答時間 ( 13回 (質問) (答弁) (トータル) 30分 + 16分 ) 46分



### 琴浦町は2060年には消滅可能性自治体になる

**問** なぜ若者（女性）が流出するのか。どのように分析され、施策を執行されているのか。

**答** 全国的に地方から若者流出は、進学や就職がきっかけとなっている。琴浦町においても人口減少に伴い若者人口も減少しているが、移住者は増加傾向にある。引き続き仕事・居住・町全体の産業や賑わいの創出など、総合的に取り組みを進めるとともに、移住者支援とまちの魅力の発信による、IJUターンなどの移住施策の充実を図る。

### なぜ若い女性は大都市をめざす

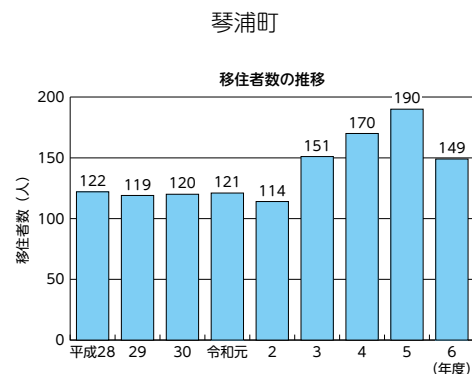
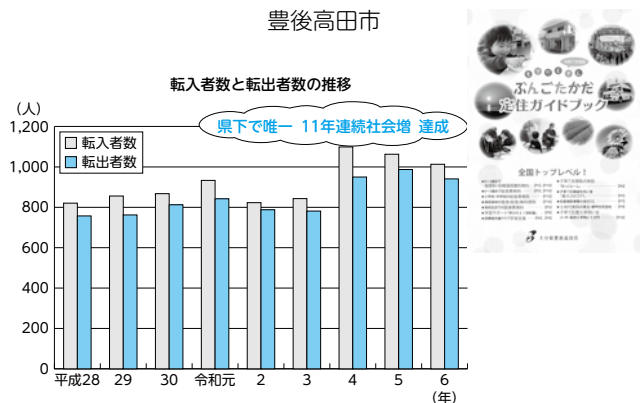
**問** なぜ県外に流出している女性が戻ってこないのか (地方女子プロジェクトとの対談より)

- ① 地元に戻る選択肢はない。
- ② 結婚する気はないが、一人で生計を立てられる仕事がない。(スキルを活かせる仕事がない)
- ③ 地方の結婚や出産の圧力にはうんざり。
- ④ 国や自治体は女性の意思や選択に向き合うことなく、子育てや結婚の支援が中心の政策は逆政策。50代女性が若い頃感じていたジレンマを、今の20代、30代の女性も感じている。

**答** 田舎に仕事がないからだけではないと思う。若い女性が来ることもある。決めつけは避けていただきたい。

### 若者や女性に選ばれる地域づくりについて

**問** 「半住半旅」も含め、定住・住まい・子育て・保健・教育・暮らし・就労・商工業・農林水産業等が記載された、琴浦定住ガイドブックを作成されないか。



**答** 移住相談のニーズに合った情報を提供できるように、ポケットフォルダー型のスタイルブックを作成している。





- 1 「旧カウベルホール」のサウンディング型調査にいたるまでの経過は
- 2 同サウンディング調査のNPOの提案内容は



- 1 「旧JAとうはく」から「合併」のために強い要請で（ホールは）2,500万円で買い取り
- 2 「地域活性化施設」としての活用 福本町長



押本 昌幸 議員

質疑応答時間 ( 27回 (質問) 30分 + (答弁) 28分 ) 58分 (トータル)



JAとうはくが旧カウベルホールを建設



1 ①「旧カウベルホール」は「JAとうはく」が1985年に建設。それを2007年に町が買い取った。その理由とそれにかかわる資金はいくらか。

- 1 ②町のその資金はどのくらい回収されたか。
- 1 ③2014年から3年間「ホール」は指定管理となった。その契約者と金額は。
- 1 ④その後、指定管理者がなかったのはなぜか。
- 1 ⑤2017年、照明音響設備更新のため「ふるさと納税」「クラウドファンディング」を実施したが結果は。
- 1 ⑥2019年「公共施設レビュー」の評価後、「ホールを守る会」から5千余人の署名簿がでたが、「ホール」の再建案は出されたのか。
- 2 ①「ホール」の閉鎖後、2023年から「未利用財産有効利用にかかる市場調査」が行われたが、「ホール」単独での利活用の提案はあったのか。
- 2 ②地下ホールにはトレンチ構造があるが、提案対象であったのか。
- 2 ③「NPO旧花本美雄文化振興財団」が唯一残ったサウンディング提案者だが、すでに「GoogleMap」に「カウベルタウン」と表示されている。未契約者なのに許されるのか。
- 2 ④このNPOの目指しているのは何か。単なる町

施設の再利用ならばあらたな「経費」が発生する。市場調査の対象外ではないか。



1 ①「JA鳥取中央」との合併条件整備として「JAとうはく」から強い要請を受けたから。経費としては2,500万円。

1 ②回収された資金はない。

2007.02 平成18年12月20日：第7回定例会>JA合併調査特別委員会委員長報告

琴浦町が買取	2,500万円
TCBへの負担金	3,762万円
町補助金返還免除	933万円
合計	7,195万円

- 1 ③指定管理者は「NPO花本美雄文化振興財団」で、契約金額は「年1,350万円」であった。
- 1 ④2016年に指定管理者選考会を行い、「NPO花本文化振興財団」のみ参加。「100点満点の65点」で70点の採用基準点を下回ったため(以降)なし。
- 1 ⑤2017年の（照明音響）設備更新のため、「ふるさと納税」「クラウドファンディング」を実施。「目標額1,000万円」に対し寄付額は27万7千円、15人。
- 1 ⑥（ホールの）具体的な改修方法や資金調達などについての記載はなかった。(後略)
- 2 ①ビジネスの活用提案は1件。「ホール」の活用提案はなし。
- 2 ②「地下のトレンチについては」具体的には示していない。
- 2 ③規制はしていない。
- 2 ④市場調査の背景としては、新たなビジネスチャンス以外に、地域活性化施設としての活用も上げている。(調査の)対象内である。(後略)

# 町民の声

敬称略

## 町議会の議員定数について

琴浦町の人口は8月31日現在15,558人、それに対して町議会の議員定数は16名です。

鳥取県内の他の自治体を見ると、倉吉市は人口約4万4千人に対し17名、北栄町は人口約1万4千人に対し13名です。

特筆すべきは境港市で、人口約3万2千人に対し15名と、人口が琴浦町の2倍であるにもかかわらず、本町より1名少ないのです。

自治体により取り組むべき課題が異なるので、単純には比較できないものの、本町の議員定数は多いと思われる。

議員の報酬や議会運営にかかる予算は間接的にしろ、町民の負担になっていると思います。

また良い政策案があっても、予算の関係で見送るということもあったでしょう。

ありとあらゆるものの値上げラッシュで町民生活が苦しくなっている中、議員報酬を少しでも減らし、予算を政策の充実に資するため、議員定数の見直しについて、前向きに検討していただきたいと思います。



かめだ あきひこ  
亀田 明彦

## あいさつが繋ぐご縁

小学生5年生の孫は現在、2人の登校班で通っておりますが、1人で通っている時期もあり、心配で私が付き添って行くこともありました。

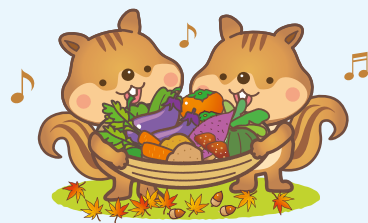
その時に、登下校の見守りをして下さっているおばあちゃんがおられる

と知り、お話すると、孫が入学した時から『おはようございます』と大きな声で挨拶をしてくれることが嬉しい、元気をもらっていると言って下さり、ほぼ毎日、何年も雨の日も暑い日も登下校を見守ってくださっています。そして、近所の方、民生委員の方の見守りもあり、子供たちが安心して登下校できることに感謝しています。あいさつは、人と人が心を通わせる第1歩。ただの言葉以上の力を持っていると感じています。

これからも孫から教えてもらうことがまだまだありそうです。



ふじい のぶこ  
藤井 伸子



## あとがき



毎月初めに届く町報や県政だより、各団体が発行する印刷物は読者の興味や関心を引きまします。

「ことうら議会だより」は3ヶ月に1回、年4回発行しています。

先日、町民の方とお話をする機会が

あり「議会だより」の感想を聞いたところ、あまり印象に残っていないようでした。

「議会活動への理解と関心を深めて頂く広報活動」への道程は道半ば、更なる研鑽が必要です。 (肇)

## 議会広報常任委員会

委員長 谷田 順子  
副委員長 川本 善孝  
委員 山本 秀正  
委員 田中 肇  
委員 小椋 憲浩  
委員 金光 敦

題字 山田 美鈴氏